

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22015	事業名	農業集落排水施設機能強化事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	13:下水道事業会計	
		基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出	
		施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	01:建設改良費	
重点プロジェクト		-		目		02:処理場整備費		
事業期間	H 30 年度 ~ R 7 年度	主な根拠法令等	浄化槽法					

部	上下水道部
課	下水道課 下水道工務G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	農業集落排水処理施設の老朽化が進む中、下水道の基本的役割である公衆衛生の確保を持続的に果たすため、計画的に施設の更新を行い、処理施設の機能を適切に確保する必要がある。	農業集落排水処理施設	老朽化した施設・機器等を計画的に更新し、処理機能を回復させるとともに、ライフサイクルコストの縮減や更新費用の平準化を図りながら、施設処理機能の健全化を図る。	機能強化対策事業計画に基づき、老朽化等により処理機能が低下した施設の更新を実施する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○機能強化工事	○機能強化工事 ○維持管理適正化計画策定(第1期)	○機能強化工事 ○維持管理適正化計画策定(第2期)	○機能強化工事 ○機能強化対策事業計画策定(第2期)	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太処理場において機器の更新工事を実施したが、新型コロナウイルス感染症による工場稼働状況の悪化、及び物流の停滞により、資材の入手に不測の日数を要したことから年度内完成に至らなかった。				
計画額	事業費	事業費	42,600千円	55,000千円	54,000千円	44,000千円
		国・県支出金	19,500千円	19,500千円	19,000千円	17,500千円
		地方債	23,100千円	35,500千円	35,000千円	26,500千円
		その他	440千円			
		一般財源	0千円			
決算額	事業費	事業費	14,780千円			
		国・県支出金	7,140千円			
		地方債	7,200千円			
		その他	403千円			
		一般財源	0千円			
①期間内事業費(R4-7)		195,600千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費	195,600千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	14,780千円
当年度の最終予算額	42,600千円
次年度への繰越額	42,600千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	機能強化済み整備率	機能強化工事を実施した機器数/期間内の計画対象機器総数	成果	%	計画値 実績値	30 0	47	67	100
				計画値 実績値					
				計画値 実績値					

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
C	老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、刃法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太処理場において機器の更新工事を実施したが、新型コロナウイルス感染症による工場稼働状況の悪化、及び物流の停滞により、資材の入手に不測の日数を要したことから年度内完成に至らず、目標値に達することができなかった。
	あまり成果を得られなかった

事業の対象	事業の目的
農業集落排水処理施設	老朽化した施設・機器等を計画的に更新し、処理機能を回復させるとともに、ライフサイクルコストの縮減や更新費用の平準化を図りながら、施設処理機能の健全化を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	資材の入手に日数がかかることが想定されていたため、早期工事発注に努めたが年度内完成には至らなかった。繰越しとなった理由である資材の入手についても、年々解消傾向であることから、施設を持続的に機能保全していくためにも国庫補助金の財源確保に努め、機能強化対策事業計画に基づき事業を推進していくことが必要である。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 機能強化対策事業計画に基づき事業を推進するため、国庫補助金の財源確保に努めるとともに、資材等の市場性の把握を行い、早期発注による更新工事を実施する。	令和6年度以降で対応するもの 機能強化対策事業計画に基づき事業を推進するため、国庫補助金の財源確保に努めるとともに、資材等の市場性の把握を行い、早期発注による更新工事を実施する。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	C			
事業展開	継続(現状維持)				

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 曾我 信介
最終評価者	上下水道部 下水道課長 宮崎 伸二